

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	豊かな心の育成事業			事業番号	038-046
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進
		有	取組の方向性	①個性や違いを認め他とともに尊重できる心の育成		
	有・無	指標名	—			
	無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	有・無	有	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2
		有	取組	睡眠教育・食育の推進		
	有・無	指標名	—			
	無	現状値	—	目標値	—	

2 関連計画 ■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン

3 事業開始年度 平成 27 年度 点検年度 令和 7 年度

4 実施根拠 (根拠法令、条例等) ■教育基本法

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁		
6	事業の対象 (対象とする人・物、対象数)	■堺市立全小中学校 ■指定校 2 小中学校 ※指定校は年度毎に指定する。	対象数	単位
			135	校
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■子どもの豊かな心の育成をめざし、小・中学校における道徳科の指導の充実を図るとともに、家庭・地域と連携した豊かな体験と道徳科を関連つけた道徳教育を推進する。 ■小中9年間を見通し、地域の実態や課題に応じた系統的な道徳教育を実施することで、将来に夢をもち郷土を愛する心を育む。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■指定校においては、以下の内容に取り組む。 (1) 道徳教育及び「道徳科」の授業づくりや評価の充実に向けた研究及び実践 (2) 全市に向けた公開授業研究会の開催 (3) 地域人材を講師に招いたり、保護者とともに道徳教育に関する活動をしたりするなど、家庭・地域と連携した道徳教育の推進 (4) 各小中学校において本市独自の道徳教材集「未来をひらく」を活用し、道徳科授業の充実を図る		
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■講師謝礼金		
10	公民連携・協働事業			

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定) 全国学力・学習状況調査質問紙調査において「自分にはよいところがある」と答えた児童生徒の割合	単位	実績		目標	目標	点検年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
			目標値	小85 中75	小86 中78	小87 中81	小90 中90
			実績値	—	小78.5 中75.4		
当該指標を選定した理由		豊かな心の育成に向けては、「自尊感情の高揚」が求められているため。「全国学力・学習状況調査」について、令和2年度はコロナ禍のため中止され、実績値等はない。					
目標値の設定根拠・算出方法		■令和7年度90%に向けて段階的に目標値を達成するために、令和3年度の目標値を設定した。 ■「自分にはよいところがある」と回答した児童・生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。					
12	活動指標(成果を上げるための手段) CBTによる堺市学習・生活状況調査において「学校のきまりを守っている」と答えた児童生徒の割合	単位	実績		目標		
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	小90 中90	小90 中90	小90 中90	
			実績値	—	小85 中94		
当該指標を選定した理由		豊かな心の育成に向けては、「規範意識の醸成」が求められているため。「全国学力・学習状況調査」について、令和2年度はコロナ禍のため中止され、実績値等はない。 令和3年度から「全国学力・学習状況調査」における質問項目が削除されたため、CBTによる堺市学習・生活状況調査の調査結果を活動指標とした。					
目標値の設定根拠・算出方法		■令和3年度は中学校については目標値を上回ったが、高い目標値のため、現状維持とした。 ■「学校のきまりを守っている」と回答した児童・生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	豊かな心の育成事業	事業番号	038-046
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業コスト	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13 財源内訳	事業費 (a)	1,688	0	1,663	511	1,668
	国支出金	1,255	0	1,663	511	1,668
	府支出金					
	市債					
	その他 ( )					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	433	0	0	0	
14	人件費 (b)	4,050	4,100	4,100	4,100	4,100
15	年間経費(c)=(a)+(b)	5,738	4,100	5,763	4,611	5,768

事業費の内訳（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
R4 予算	575	0	R4 予算	115	0			
出張旅費	R3 決算	0	0		R3 決算			
	R4 予算	464	0		R4 予算			
道徳教育推進指定校消耗品	R3 決算	241	0		R3 決算			
	R4 予算	280	0		R4 予算			
印刷製本費	R3 決算	178	0		R3 決算			
	R4 予算	210	0		R4 予算			
通信運搬費	R3 決算	0	0		R3 決算			
	R4 予算	24	0		R4 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		① 豊かな心の育成事業 実施校	校
② 上記①にかかる年間経費	千円	4,100	4,611
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	30,370	34,156
備考 (算出についての説明等)		豊かな心の育成事業 実施校	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18

- 「豊かな心の育成事業指定校」の2校では、それぞれの地域の実態、課題を踏まえ、道徳教育の充実に係る取組を行い、ホームページや公開授業等で周知を図ることができた。
- 第5回堺市道徳教育研究大会では、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、会場校への参加対象者を堺市の小学校教員のみ制限し、堺市の小中教員に対してはオンラインでの参加を呼び掛けた。合計約200名が参加し、全市に向けた取組の発信を組織的に行うことができた。
- 道徳科を要として学校全体で組織的に道徳教育を推進したことにより、活動指標において、高い達成率を得ることができた。今後、成果指標においても目標を達成すべく取組の充実に努める。
- 令和2年度においては、コロナ禍のため国における委託事業が中止となり、本事業においても一旦中止したため、単位当たり経費が増加となった。令和元年度から比較すると大幅に減少しており、効率性は向上している。これは指定校数を縮小したことが主な要因と考えられる。令和4年度以降については、指定校数は継続とし、HP等を活用した発信等の取組を充実させることで効果につなげていく。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19

- 各校における「特別の教科 道徳」の充実に図り、また家庭・地域と連携しながら、学校活動全体を通して子どもの豊かな心を育む道徳教育を推進した。堺市基本計画2025のKPIである「自分にはよいところがある」「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童生徒の割合は、小中学校ともに高い水準を維持している。
- 今後、児童生徒の心の育成や道徳教育のさらなる充実に向け、小中9年間を見通した道徳教育を推進する必要がある。